資料５

堺市介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況について

１　事業所指定状況・利用者数

区分		事業所数	利用者数（人）
訪問型サービス	現行相当	507(510)	6,075(5,902)
	担い手登録型	14(10)	32(9)
通所型サービス	現行相当	294(292)	6,048(5,540)
	担い手登録型	2(4)	15(0)
	短期集中	31(33)	16(26)

※事業所数は平成 30 年 10 月 1 日時点、利用者数は平成 30 年 10 月利用分
※( )内は、同時期の前年度実績

２　総合事業対象者数（平成 30 年 10 月末時点。（ ）内は前年度 10 月末時点）

要支援１	12,090 人(11,634 人)
要支援２	7,800 人(7,292 人)
事業対象者※	240 人(112 人)

※基本チェックリストによる判定に該当した総合事業の対象者。

３　堺市生活援助サービス従事者研修受講修了者

平成 28 年度に 6 時間×2 日間の研修を 6 回実施。平成 29 年度は 6 回実施。
平成 30 年度は、7 月以降で 8 回実施予定。
　研修修了者数　456 人（平成 30 年 10 月末時点）

４　新設定単価利用実績（現行相当）

現行相当の単価に、要支援 2 の通所週 1 回、訪問・通所の出来高単価を設定

利用月	要支援 2（週 1 回）通所			出来高単価差(訪問)			出来高単価差(通所)			単価差（計）(円)
	全体(件)	週 1	単価差(円)	全体(件)	出来高	単価差(円)	全体(件)	出来高	単価差(円)	
4 月	2,585	786	−12,788,220	5,883	982	−6,093,726	5,696	1,529	−11,704,759	−30,586,705
5 月	2,725	816	−13,276,320	6,185	888	−5,863,702	5,866	1,303	−10,146,138	−29,286,160
6 月	2,776	857	−13,943,390	6,225	1,004	−6,728,082	5,980	1,564	−11,946,435	−32,617,907
7 月	2,754	848	−13,796,960	6,097	916	−5,992,924	5,913	1,445	−11,283,384	−31,073,268
8 月	2,732	834	−13,569,180	6,062	1,028	−6,596,529	5,876	1,575	−12,469,851	−32,635,560
9 月	2,743	864	−14,057,280	6,136	1,718	−10,143,776	5,961	2,417	−18,272,885	−42,473,941
10 月	2,801	870	−14,154,900	6,075	837	−5,700,658	6,048	1,331	−10,497,402	−30,352,960
計	19,116	5,875	−95,586,250	42,663	7,373	−47,119,397	41,340	11,164	−86,320,854	−229,026,501

５　短期集中通所サービスについて

短期集中通所サービス事業所は、市が作成したプログラムに従い、生活課題を改善する「生活行為改善型」（26 事業所）と、閉じこもりがちな方に社会参加を促す「社会参加型」（5 事業所：南区 3 ヵ所、中区 1 ヵ所、北区 1 ヵ所）の 2 類型の形態で実施している。

〇短期集中通所サービス利用状況

利用者数：34 人（H30 年 4 月～10 月利用者実人数）、323 人（H30 年度延人数）

事業所数：31 事業所（H30 年 12 月 1 日時点）

今年度は、短期集中通所サービスについて、次のような取組を行っている。

【今年度の取組】

・ケアマネジャー、事業所対象に事業内容の説明会を実施（H30 年 3 月）

・委託事業所を対象に、プログラムに関する研修会を実施（H30 年 5 月）

・利用実績のある事業所を訪問し実施状況の確認と評価（H30 年 8 月～9 月）
　評価結果を事業所にフィードバックし、指導（H30 年 11 月）

・市内のリハビリ専門職及び介護事業所を対象とした研修会で、短期集中通所サービスの事業所による事例発表（H30 年 11 月）

【取組事例】

・事業所、生活支援コーディーネーター、保健センター、自治会等と連携し地域会館等を活用して事業を実施し、事業終了後においても高齢者が自主的に活動が継続できるよう支援している。

・事業終了後、自主活動グループが 4 ヵ所活動し、通いの場の創設につながっている。